



# オアシス

第 32 号

令和5年

4.1



特集

想像力

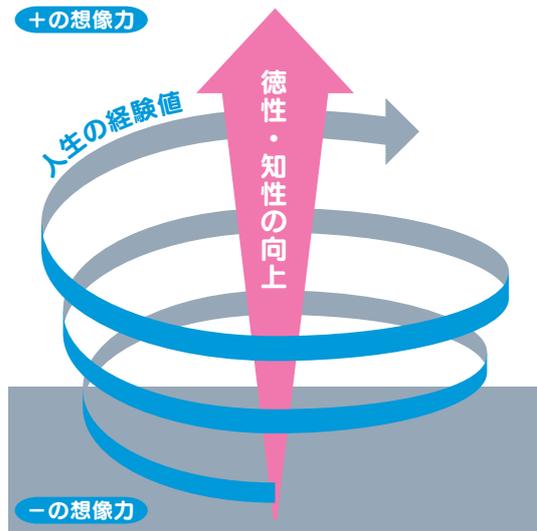
特集

# 「想像力」



引き続き想像力について考えていきたいと思います。今回は想像力の正体を探すべく 3 人の方から考えを伺いました。どれも理解を深めるのにすごく役立ったことだと思います。いうまでもなく、私たちは想像力の恩恵を受けながら、より高い文明へと発展しているのですが、同時にその使い方によって安全安心が脅かされる事態に陥ることがしばしばあります。大きくは国家間の戦争から詐欺などの犯罪行為、想像力を駆使することによって命が救われ、また奪われていく。想像力によって喜びも、悲しみも生まれていく。知性と同じように、徳性を共に育てながら相互に発展させていくものだと書きましたが、それが一番難しいところでもあります。

＋の想像力



おじさ～ん。  
この絵の意味を教えてください！



プラスとマイナスの想像力ってどういう意味なの？



想像力を良い方に使えば、文明の発展に貢献するし人間関係も円滑になって、皆が快適に暮らせる世界になるんだよ。  
でも想像力の使い方を誤ると、人を騙したり傷つけたり、戦争を始めたり、犯罪行為をする人も残念ながら出て来るんだ。



想像力って、楽しいことに使うことだとばかり  
思っていた・・・。  
人が悲しむことに使うマイナスの想像力が  
あるなんて・・・。

じゃあプラスの想像力を伸ばすにはどうすれば良いの？  
この絵の「人生の経験値」はクネクネ曲がっていて  
その横の「徳性・知性の向上」の矢印は真直ぐに  
上を向いてるのはどういう意味なの？



いろいろなことを経験していく中で、失敗して学ぶことも  
多いから、たくさん経験しなさいってことさ。  
もし失敗をしても、成功に向かって自分で考えながら前に  
進んでいくことが大事なんだから。  
単に経験するだけでなく、プラスの想像力を伸ばすには  
「徳性と知性」の向上が伴わないと意味がないんだよ。  
せっかく人間に備わっている素質なんだから、磨いて洗練  
して、人が喜ぶことに使う方がいいだろう？



そうね。いろいろな経験をして、正しい心で身に付けた  
知識や知恵で、もっと深く「徳性」を磨くことで、プラスの  
想像力が伸びるんだね。  
「徳性を磨く」って難しいけど、今の私ができることから  
始めようっと。

まずは、プラスの想像力を伸ばすために  
お外でたくさん遊んでくるね！



おかあさんも  
一緒に遊ぼう！

フランスのジュール・ヴェルヌは「人間が想像できることは、人間が必ず実現できる」と言っています。実際にその著作の多くが実現していますし、まだ実現していないこともこれから実現していくと信じていたい。約半世紀後に生まれ、同じく「SFの巨人」と呼ばれたイギリスのH・G・ウェルズは戦争根絶にも尽力しました。日本国憲法の草案に影響を与えたとされ、特に憲法第9条の平和主義と戦力の不保持はその願いを込めたものになっています。しかしながら、彼の考えは全世界が同じ平和憲法を持つことでした。また、そうでなければこの法律は成り立ちません。日常の生活に置き換えてもプラスの想像力を元に意識の共有を働かせることが必要です。私達の未来は私達の手によって作られます。「人間が想像できることは、人間が必ず実現できる」のですから。

# 少年のつどい



日時：令和4年10月23日(日) 場所：平塚川添遺跡公園

「第14回少年のつどい」を開催しました。この催しは朝倉市の自然に囲まれて親子や友達との絆を深めることを目的に実施しています。

今回は平塚川添遺跡公園を会場に「小枝ストーブを作ろう!! ～1号缶を使ってウッドガスストーブ作りに挑戦 サバイバルご飯を食べよう～」と題して講師の説明を聞きながらみんなで協力して小枝ストーブを作り、火おこし体験やサバ缶カレーを料理しました。



講師・土居元さん  
(土居自然学校代表)



## 子ども達の感想

- ・知らない人と班になって、最初はぎこちなかったけど小枝ストーブを作るうちに協力ができて、いい関係になれたなと感じました。小枝ストーブでご飯を食べれてとてもおいしく感じました。やっぱりみんなで作ったからだなと思いました。
- ・遊べてカレーを食べれておかしを食べれて火おこしができたので楽しかったです。また来て今日みたいに遊びたいです。
- ・小枝ストーブ作りは、楽しかった。すこしむずかしかったけどキャンプとかするときには作り方を知っていたら便利だと思います。

## 保護者の感想

- ・校区や年齢の異なる集まりの中で、子ども達が次第に打ち解けて、協力しながら作り上げていく姿が見られてよかった。
- ・講師の方をはじめ、「多くの大人の見守りがあって子ども達が成長していく」という社会のあるべき姿が見えました。
- ・保護者として、子ども達を見守ることの大事さを感じました。

# 第12回 青少年の集いinあさくら

令和4年12月18日(日)朝倉地域生涯学習センター文化ホールにて「第12回青少年の集いinあさくら」を開催しました。

その中で市内の中学生が日ごろ感じていることを発表する「少年の主張」を行いました。司会は朝倉高等学校放送部1年生2人による進行と朝倉市手話の会の皆さんの協力で進められました。



柴田 雄登さん



金子 陸さん

## 「少年の主張」



十文字中学校  
3年  
中上 優乃さん

主張

「繋ぐ」



南陵中学校  
3年  
西田 菜七子さん

主張

「少数派の特性を尊重する」



秋月中学校  
3年  
稲葉 咲花さん

主張

「当たり前じゃないこと」



甘木中学校  
3年  
田中 愛優さん

主張

「普通ってなに？」



杷木中学校  
3年  
井上 愛未さん

主張

「忘れてはいけない記憶」



比良松中学校  
3年  
藤木 麻緒さん

主張

「My Idea about Gender Equality」

## 朝倉市青少年育成市民会議では賛助会員を募集しています。

— 未来の朝倉市を担う子ども達をあなたの手で —  
朝倉市青少年育成市民会議では、活動を財政面でサポートしていただく賛助会員を募集しています。朝倉市の子ども達をいきいきと健やかに育てるための活動にご参加ください。それぞれの立場で、得意の分野で、さまざまな形で子ども達を見つめ、支えてください。

●ありがとうございました● (賛助会員、敬称略、順不同)

【個人】梶原 眞

【法人・団体】三奈木地区民生委員児童委員協議会  
(令和4年8月1日～令和4年12月31日)

詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

朝倉市青少年育成市民会議事務局  
TEL:0946-28-7595 FAX:0946-63-3569  
E-mail:danjo@city.asakura.lg.jp

# 地区協議会

Jyumonji / Nanryo / Akizuki / Amagi  
Tateishi / Hiramatsu / Haki



## 甘木地区 ～PTA成人教育講座～



「困らせる子どもは困っている子ども」～支援は始縁～

11月20日(日)甘木中学校武道場において、甘木町青少年育成協議会立石地区青少年育成協議会協賛のもとPTA成人教育講座が、甘木中学校の保護者や地域の方達を対象に開催されました。

講師は、社会福祉法人 甘木山学園理事 坂口明夫先生で、自らの被虐待や里子としての経験を含め、子ども達を支えるため「連携」「協働」のあり方「子育て」「発達しょうがい」「社会的養護」

の理解を深め、子どもへの虐待防止に向けた活動等をされています。

講演を聞く中で感じたことは、下記のように感じました。

- ・大人のまなざしがたくさん必要である
- ・対話をたくさん重ねていくこと
- ・あいまいな返事をしないこと
- ・子どもがおかれている状況を把握すること
- ・ほめる場合何がよかったか等きちんと伝えること

参加された方の感じ方は様々ですが、聞いていて納得できる点も多くわかりやすい内容でとても良かったと話しながら帰路につかれる様子に今後も子ども達へのあたたかい見守り活動にも期待ができそうです。

この講演会は毎年行われています。たくさんの方の参加を今後も期待したいと思います。

未知なる可能性を秘めた子ども達を皆さんで見守っていきましょう!!



## 比良松地区 ～あいさつ運動～

人と人との心のつながりを深め、よりよい地域づくりと明るい健やかな子ども達の育成支援活動として「あいさつ運動」を行っています。

子ども達の朝の登校時間に合わせて、各学期に2回の合計6回、比良松中学校、大福小学校朝倉東小学校の校門前で行い、子ども達が笑顔で明るい一日のスタートを切れるように、気持ちのいいあいさつ・声掛けに力を注いでいます。

あいさつ運動を、家庭・学校・地域で取り組み、いつでも、どこでも、だれにでも、明るいあいさつ・声かけの輪が広がる朝倉地域をめざしています。

あいさつ運動の、継続的な取り組みの大切さを感じています。



このコーナーでは7つの地区協議会の取り組みや地域で活動する青少年について紹介していきます。

## HOT LINE

### 杷木地区 ～子ども防災講座～



楽しく防災のことを学ぶ機会として10月22日(土)旧久喜宮小学校に建てられた「久喜宮防災拠点施設」の体育館で、杷木小学校2年生から5年生までの14名の児童が参加してくれました。講師には、北九州市立大学村江史年先生と原鶴温泉 やぐるま荘 社長 師岡哲也さんをお招きしました。

村江先生は、動画を見ながら災害の違いについて災害にも「気象災害」と「地象災害」があること。この違いを知るだけでも減災・防災につながることを教えてくれました。また、グループに分かれて防災グッズについても何がどのくらい必要でどのように準備していればいいのかわ、クイズを交えて学びました。

師岡さんは災害時に役立つロープを使って、結び方や投げ方、川に行くときに持っていくと便利な防災グッズの作り方を楽しく教えてくれました。体育館には即席のターザンロープを作り、豪雨災害後なくなった小学校の遊具、コロナ禍で遊べない時期が続いた子ども達にとって、心から楽しく遊べた時間だったのではないのでしょうか。

これからも楽しく学習し、子ども達の学ぶ機会となれば幸いです。



### 南陵地区 ～地域文化発表会～

令和4年11月16日(水)南陵中学校「地域文化発表会」が3年ぶりに開催されました。

地域・学校の連携・融合、地域全体で子ども達を育てようと平成14年から始まり、今年で19回目を迎えます。

1年生が「総合的な学習の時間」の中で地域の方々の指導を受けながら、地域の伝統文化の「和太鼓」「獅子舞」「民話と方言」「能楽」と4つのコースに分かれて、9月から、週に1回練習を重ね発表しました。



# 表紙イラストの結果発表

オアシス表紙イラストへの多数のご応募ありがとうございました。  
 想定を上回るご応募を頂き、多くの方に「オアシス」への関心を持  
 っていただいていることを大変嬉しく思います。  
 審査の結果、応募作品の中から最優秀賞と敢闘賞を決定しました。  
 ※賞は最優秀賞のみの予定でしたが、協議の結果敢闘賞を増枠しております。

梶木中学校 3年 梶木中学校 3年

**最優秀賞：星野 フレア さん 敢闘賞：熊谷 琥太郎 さん**

最優秀賞作品は本号表紙イラストとして掲載しております。また、敢闘賞作品は本号内でイラストとして使用させていただいております。



## オアシス第33号の表紙イラスト募集します

次号表紙イラストを募集いたします。  
 次号のテーマは「居心地のいい場所」です。  
 応募の詳細は募集要項をご確認ください。たくさんの  
 応募をお待ちしています。

### 募集要項

- ◆募集期間：令和5年4月3日(月)～令和5年6月30日(金)
- ◆応募資格：18歳以下
- ◆イラストの規格：八つ切の画用紙1枚程度、縦書き
- ◆応募方法：イラストの裏面にお名前(ペンネームでも可)と年齢、ご連絡先(メールアドレス、電話番号)を記入し下記の申込先まで持参もしくは郵送してください。

※印刷や郵送に要する費用については自己負担となります。  
 ◆賞：最優秀作品はオアシス第33号の表紙として採用させていただきます。  
 その他の副賞及び参加賞はございません。  
 ◆審査について：応募作品は7月上旬頃にオアシス編集委員会で審査します。審査後、最優秀作品の作成者には表紙掲載に関する確認のご連絡をさせていただきます。  
 ※なお、ご提出いただいた作品は原則として返却しませんのでご了承ください。

### 問い合わせ・申込先

**朝倉市青少年育成市民会議事務局**  
 〒838-1592 福岡県朝倉市梶木池田483-1  
 TEL:0946-28-7595 FAX:0946-63-3569  
 E-mail: danjo@city.asakura.lg.jp

### おすすめの一冊

#### 私は私のままで 生きることにした

キム・スヒョン 著  
 吉川南 訳  
 ワニブックス刊

本屋さんを覗いたら、3年連続年間ベストセラー167万部と書かれた「私は私のままで生きることにした」と書かれた一冊の本を見つけました。  
 興味ありげに読んでみると、「人生から数字を消そう」「完璧な人生なんてない」「幸せは人生の目的じゃない」など大きく頷ける内容でした。  
 人は、学校や職場、家庭で、人間関係を悩み、自分はダメな人間だと肩を落とすこともあるでしょう。周囲に認めてもらおうと頑張りすぎる人もいます。  
 この本は、柔らかなふんわりした雰囲気イラストと説得力のある力強い言葉で背中を押してくれます。  
 疲れた全ての人たちを応援し、大きな力をもらえる一冊です。



### 編集後記

私たちは青少年の健全育成に向けて様々な取り組みを行っています。今回紹介している「少年のつどい」「青少年の集いinあさくら」はコロナ禍の影響により実に3年ぶりの開催となりました。  
 「少年のつどい」では、参加した小学生が地域や学年を超えて互いに協力しながら小枝ストロップ作りを体験し、人と協力し合うことの大切さや絆を感じながら、目を輝かせ笑顔の絶えない一日を過ごしていただきました。また、「青少年の集いinあさくら」では、中学生の想いや今感じていることを「少年の主張」として堂々と発表していただき、未来を担う子ども達の今後の活躍に期待で胸を膨らませました。改めて、私たちの活動の意味を実感できた一年間だったと思います。  
 昨今、子ども達を取り巻く環境は大きく変化していますがこれからも子ども達が夢や希望を抱いて大きく羽ばたけるよう見守っていききたいと思います。

穴あけが必要な場合は△を中心に開けください。